

# 山下地区 地区別計画

(平成 23 年度～平成 27 年度)

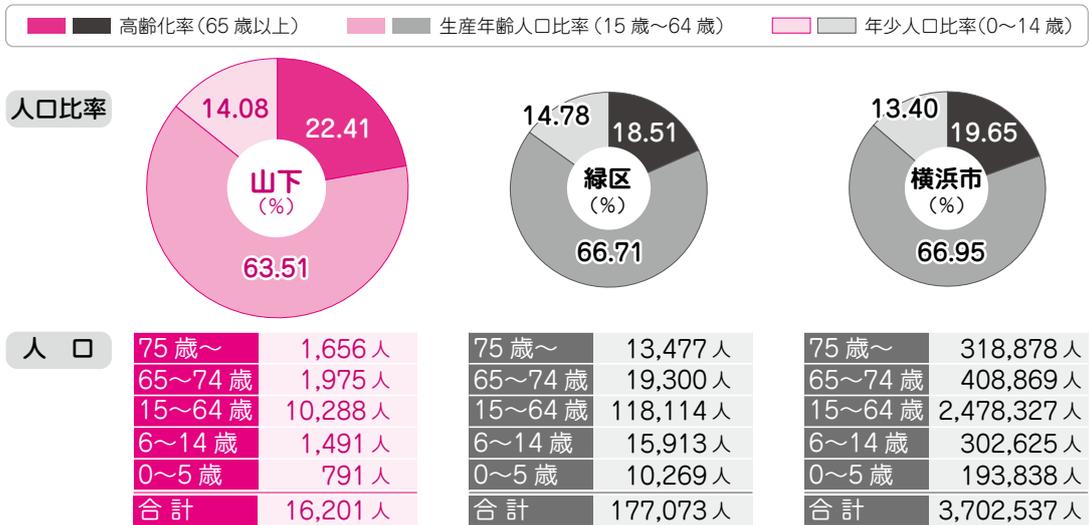
山下地区別計画策定委員会

## 地域 西八朔町、北八朔町、小山町、青砥町

区の北側、恩田川と鶴見川にほぼ挟まれた形で東西に長く位置し、北西側は青葉区、北側は都筑区に隣接している。市街化調整区域が多い田園地帯で、丘陵地に市営住宅や戸建の住宅がならんでいる。山下地域交流センターやコミュニティハウスが整備され、活動の拠点となっている。

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設などの福祉施設が多い。

### <年齢区分別人口>



- 高齢化率 22.41%は、緑区の 18.51%より 3.90%、横浜市の 19.65%より 2.76%、それぞれ高くなっている。
- 生産年齢人口(15歳～64歳)の割合 63.51%は、緑区の 66.71%より 3.20%、横浜市の 66.95%より 3.44%、それぞれ低くなっている。

平成 22 年(2010年)9月末

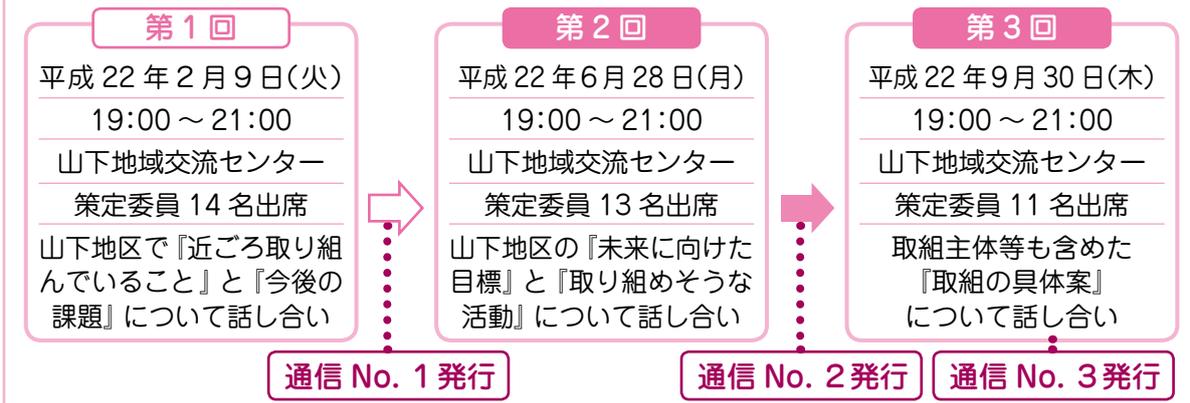


### <山下地区 地区別計画策定委員>

(五十音順、敬称略、○:委員長)

- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| ● 浅見 静代 | ● 石井 薫  | ● 井上 和子 |
| ● 大塚 摂子 | ● ○大槻 孝 | ● 小川 絵美 |
| ● 小澤 秀夫 | ● 片瀬 浩  | ● 川村 弘子 |
| ● 佐藤 庸雄 | ● 篠崎 恵子 | ● 鈴木 陽子 |
| ● 谷井 春夫 | ● 兵頭 洸  | ● 政木 信幸 |
| ● 宮田 文夫 | ● 若林 直実 |         |

## 地区別計画策定委員会の開催状況

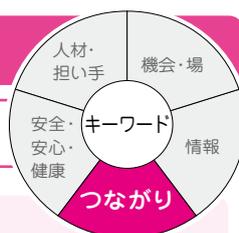


## 地域での「つながり」を大切にすまちづくり

【取り組んでいきたいこと】 あいさつに始まる声かけを、自分から周囲へ広げていきたい

### 【具体的な取組】

- 回覧板はチャームを押しての手渡し、行事のお知らせはチラシより直接会って伝える、スポーツ行事を通じた交流を広げるなど、あいさつで顔見知りになる機会を増やすこと
- 「自治会の枠を超えたつながり」をつくるため、民生委員等の各種団体が接着剤の役割(地区情報の共有化)をしていくこと。自治会と各種団体はオリンピックの五輪の輪！



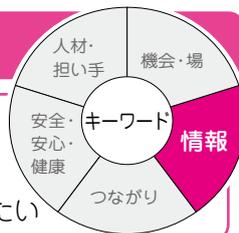
## 必要な「情報」が入手しやすいまちづくり

### 【取り組んでいきたいこと】

民生委員や保健活動推進員、老人クラブなどによる、訪問事業等を通じた、高齢者や子育て中の親等に対する地域行事等の情報提供、参加の声かけを行いたい

### 【具体的な取組】

- 緊急時医療情報キット配布等の訪問時には、併せて興味のある情報や他の団体が行う行事等の情報を伝えること。
- 連合自治会が中心となって、自治会や各種団体の活動をつなげる会議を開催し、地区の情報を共有化すること。また、ひとり暮らし高齢者等の情報を基に要援護者マップ等を作成し活用すること。



## 「防犯・防災」で安心・安全なまちづくり

【取り組んでいきたいこと】 防災ささえあいカードの有効な活用方法を検討したい

### 【具体的な取組】

- 老人会の入会勧奨等の訪問時に、防災ささえあいカードに記入してもらおう等、情報収集に努めるとともに、自治会や民生委員が中心となり、情報の更新を計画的に行うこと。
- 高齢者だけでなく、障がいのある人や認知症の人、子育て中の人等、支援が必要な人の情報も収集し、安心して住める地域づくりを進めること。



みんなの力で山下地区をもっともっと素敵な街にいきましょう!!

## 山下地区・地区別計画策定委員会通信No.1



### ～「みどりのわ・ささえ愛プラン 地区別計画」って？～

「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、わたしたち一人ひとりが自分らしく、心豊かに充実した生活を送ることができるよう、区民の方々や団体・事業者の皆様、地域包括支援センター、社会福祉協議会、区役所等が協働で共にささえあうまちづくりを進めていくための計画です。

その中でも、「地区別計画」は、日々の暮らしの中で起きている身近な地域での“福祉・保健”に関する課題の解決に向けて、地域の皆さんが検討し、順序立てて取り組むための計画です。

### ～「地区別計画策定委員会」って？～

地域の主な福祉保健関係団体などからの委員で構成されている委員会で、「地区別計画」策定の中心になっていきます。山下地区は14名の委員で構成されています。

#### 山下地区・地区別計画策定委員（アイウエオ順 敬称略）

浅見 静代	石井 薫	井上 和子	大塚 摂子	○大槻 孝
片瀬 浩	川村 弘子	佐藤 庸雄	篠 恵子	鈴木 陽子
谷井 春夫	兵頭 洵	政木 信幸	若林 直実	

（○印は委員長）

平成22年2月9日(火)19時～21時、山下地域交流センターで「第1回山下地区・地区別計画策定委員会」を開催しました。

今回は第1回目の委員会ということで「山下地区ではどんな活動が取り組まれているか」ということを話し合いました。また、その中から課題と感じていることも少し見えてきました。委員会で話し合われた内容を、地域の皆さんも是非ご覧下さい！

### ～ 山下地区で近ごろ取り組んでいること～

- ・ 一人一人の声かけて地域の活動に参加する人の輪が広がっている。
- ・ 「親子の広場」ができて子育てを中心とした地域の人たちとのつながりができてきた。
- ・ 健康体操教室を核として、地域のつながりが生まれた（人と施設、団体）。
- ・ 情報の伝達のルートがいくつかできてきた。
- ・ 防災データマップの作成、配布（避難場所として協力してくれる施設も掲載）をしている。
- ・ 登下校時の見守りパトロールをしている。

などなど、他にもたくさんの報告がありました。

## ～ 山下地区の今後の課題について ～

話し合われた意見を「5つの視点」でまとめてみました。

### 1 地域での「つながり」を大切にするまちづくり

- ・ 地域の活動に参加したくてもできない人がいる。
- ・ 地域の活動に参加したくないと思っている人や無関心な人もいる。
- ・ 山下地区はソフトボール等スポーツが盛んで、その交流が各種活動を支えている面もある。このようなつながりを活用し、各団体がもっと連携できればよい。

### 2 「一人ひとりの力」が発揮できるまちづくり

- ・ 若い人たちや男性の地域活動への参加が増えていくとよい。

### 3 みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり

- ・ 近くで集える場が必要。あったら参加しやすいのに。

### 4 必要な「情報」が入手しやすいまちづくり

- ・ 個人情報保護の壁があり、必要な情報が入手しにくい。
- ・ 活動の周知がむずかしい。もっと工夫できないか？
- ・ 掲示板は広報手段として有効。もっと活用できないか？

### 5 「安心・安全・健康」のまちづくり

- ・ 何かあったときに周囲にSOSを出せない人がいそう（一人暮らしの青年・壮年層など）。

第2回の地区別計画策定委員会では、「課題の解決のために何をすればいいのかしら？」「私たちにもっとできることはないかな？」など、さらに議論を深めていきたいと思っています。



みんなの力で山下地区をもっともっと  
素敵な街にしていきましょう！！

<連絡先>

山下地区・地区別計画策定委員会  
事務局 TEL：930-2282  
（緑区 税務課担当課長 藤井）

## 山下地区・地区別計画策定委員会通信No.2



### ～「みどりのわ・ささえ愛プラン 地区別計画」って？～

「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、わたしたち一人ひとりが自分らしく、心豊かに充実した生活を送ることができるよう、区民の方々や団体・事業者の皆様、地域包括支援センター、社会福祉協議会、区役所等が協働で共にささえあうまちづくりを進めていくための計画です。

その中でも、「地区別計画」は、日々の暮らしの中で起きている身近な地域での“福祉・保健”に関する課題の解決に向けて、地域の皆さんが検討し、順序立てて取り組むための計画です。

### ～「地区別計画策定委員会」って？～

地域の主な福祉保健関係団体などからの委員で構成されている委員会で、「地区別計画」策定の中心になっていきます。山下地区は14名の委員で構成されています。

#### 山下地区・地区別計画策定委員（アイウエオ順 敬称略）

浅見 静代	石井 薫	井上 和子	○大槻 孝	小川 絵美
小澤 秀夫	片瀬 浩	川村 弘子	篠 恵子	鈴木 陽子
谷井 春夫	兵頭 洩	宮田 文夫	若林 直実	

（○印は委員長）

平成22年6月28日(月)19時～21時、山下地域交流センターで「第2回山下地区・地区別計画策定委員会」を開催しました。

今回は第1回委員会の検討の中で出された課題を解決するために、現在「山下地区ではどんな活動に取り組んでいるのか」を整理し、これから「山下地区で取り組みそうな活動」について話し合いました。委員会で話し合われた内容を、地域の皆さんも是非ご覧下さい！

## 山下地区の未来に向けた目標

通信No.1の5つの視点を、地域での「つながり」を基本に、議論しやすいよう4つ（つながり、情報、防犯・防災、その他）の視点にまとめて話し合いました。

- ① 近所どうし、あいさつで周りも自分もHappyに！  
地域で声かけできる、顔の見える関係づくりができています。
- ② 地域で活動している団体や福祉施設との間で、横のつながりを大切にし、風通しのよい関係づくりができています。
- ③ 自治会等と福祉施設が連携して、災害時における高齢者等の避難が安全に行える体制ができています。
- ④ 性別や年齢、障がいの有無等を問わず、地域の誰もが活動や行事に参加しやすい場ができています。

## 山下地区で取り組めそうな活動

現在山下地区で取り組んでいる活動を整理し、これから山下地区で取り組めそうな活動について、「4つの視点」から話し合われた意見をまとめてみました。

### 1 地域での「つながり」を大切にするまちづくり

- ① あいさつに始まる声かけを、自分から周囲へ広げていくこと。
- ② 自治会対抗の体育祭、グランドゴルフ、少年野球・サッカーなどのスポーツ行事を通じた地域交流を広げていくこと。
- ③ 高齢者（グループホームを含む）等や子どもたちが、地域の活動と一緒に参加してもらおう行事を増やしていくこと（男性の料理教室、カレーミーティング、恩田川堤防のごみ拾い等）。
- ④ 山下地区で活動している各種団体の活動をつなげるような会議の開催を検討すること。
- ⑤ 自治会の魅力やメリットを発信して、自治会加入者を増やし、活動の活性化を図っていくこと（自治会館にサロンを設置など）。

### 2 必要な「情報」が入手しやすいまちづくり

- ① 民生委員や保健活動推進員、老人クラブなどが、訪問事業等を通じて、高齢者や子育て中の親等に対して地域の行事等の情報提供や参加の声かけを行うこと（昼食会、親子の広場等）。
- ② 地域の情報をマップなどでわかりやすく紹介すること（要援護者マップ、地場売りマップ等）。

### 3 「防犯・防災」で安心・安全なまちづくり

- ① 防災ささえあいカードの有効な活用方法を検討すること。
- ② 災害発生時の対応について、自治会と福祉施設等との連携について検討すること。
- ③ 防災訓練等を通じて、資機材の取扱方法等を日ごろから身につけること。

### 4 その他

- ① 高齢者等が集いやすい、送迎等の環境づくりを検討すること。

第3回の地区別計画策定委員会では、課題の解決のために「私たちが山下地区で具体的に取り組めることは何かな？」など、素案の作成に向けて、さらに議論を深めていきたいと思っています。



みんなの力で山下地区をもっともっと  
素敵な街にしていきたいと思います！！

<連絡先>

山下地区・地区別計画策定委員会  
事務局 TEL：930-2282  
(緑区 税務課担当課長 藤井)

## 山下地区・地区別計画策定委員会通信No.3



### ～「みどりのわ・ささえ愛プラン 地区別計画」って？～

「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、わたしたち一人ひとりが自分らしく、心豊かに充実した生活を送ることができるよう、区民の方々や団体・事業者の皆様、地域包括支援センター、社会福祉協議会、区役所等が協働で共にささえあうまちづくりを進めていくための計画です。

その中でも、「地区別計画」は、日々の暮らしの中で起きている身近な地域での“福祉・保健”に関する課題の解決に向けて取り組むための計画です。

### ～「地区別計画策定委員会」って？～

地域の主な福祉保健関係団体などからの委員で構成されている委員会で、「地区別計画」策定の中心になっていきます。山下地区は14名の委員で構成されています。

#### 山下地区・地区別計画策定委員 (アイウエオ順 敬称略)

浅見 静代	石井 薫	井上 和子	○大槻 孝	小川 絵美
小澤 秀夫	片瀬 浩	川村 弘子	篠 恵子	鈴木 陽子
谷井 春夫	兵頭 洌	宮田 文夫	若林 直実	

( ○印は委員長 )

平成22年9月30日(木)19時～21時、山下地域交流センターで「第3回山下地区・地区別計画策定委員会」を開催しました。

今回は第2回委員会の検討の中で出された山下地区の未来に向けた目標や、取り組みそうな活動について整理し、地区別計画素案をつくるための具体的な取組について話し合いました。委員会で話し合われた内容を、地域の皆さんも是非ご覧下さい！

### 地区別計画策定委員会の開催状況

#### 第1回

平成22年2月9日(火)  
 19:00～21:00  
 山下地域交流センター  
 策定委員14名出席  
 山下地区で『近ごろ取り組んでいること』と『今後の課題』について話し合い

通信  
No.1  
発行

#### 第2回

平成22年6月28日(月)  
 19:00～21:00  
 山下地域交流センター  
 策定委員13名出席  
 山下地区の『未来に向けた目標』と『取り組みそうな活動』について話し合い

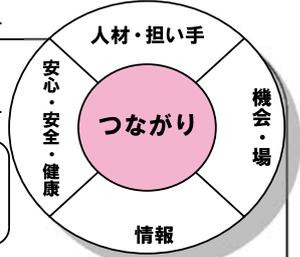
通信  
No.2  
発行

#### 第3回

平成22年9月30日(木)  
 19:00～21:00  
 山下地域交流センター  
 策定委員11名出席  
 取り組み主体等も含めた『取り組みの具体案』について話し合い  
 →素案完成

地区別計画素案をつくるための、今後5年間の取組目標と具体的な取組について、3つの項目から話し合われた意見をまとめました。

## 1 地域での「つながり」を大切にす まちづくり

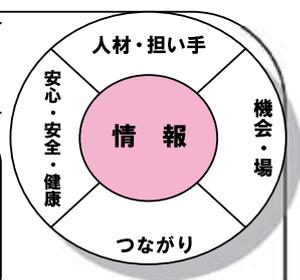


**【取り組んでいきたいこと】**  
あいさつに始まる声かけを、自分から周囲へ広げていきたい

**【具体的な取組】**  
① 回覧板はチャイムを押しての手渡し、行事のお知らせはチラシより直接会って伝える、スポーツ行事を通じた交流を広げるなど、あいさつで顔見知りになる機会を増やすこと。

**【具体的な取組】**  
② 「自治会の枠を超えたつながり」をつくるため、民生委員等の各種団体が接着剤の役割（地区情報の共有化）をしていくこと。  
**自治会と各種団体はオリンピックの五輪の輪！**

## 2 必要な「情報」が入手しやすい まちづくり

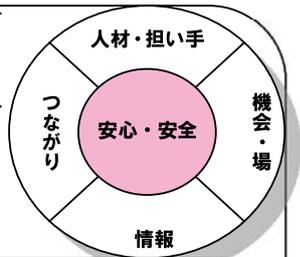


**【取り組んでいきたいこと】**  
民生委員や保健活動推進員、老人クラブなどによる、訪問事業等を通じた、高齢者や子育て中の親等に対する地域行事等の情報提供、参加の声かけを行いたい

**【具体的な取組】**  
① 緊急時医療情報キット配布等の訪問時には、併せて興味のある情報や他の団体が行う行事等の情報を伝えること。

**【具体的な取組】**  
② 連合自治会が中心となって、自治会や各種団体の活動をつなげる会議を開催し、地区の情報を共有化すること。  
また、ひとり暮らし高齢者等の情報を基に要援護者マップ等を作成し活用すること。

## 3 「防犯・防災」で安心・安全な まちづくり



**【取り組んでいきたいこと】**  
防災ささえあいカードの有効な活用方法を検討したい

**【具体的な取組】**  
① 老人会の入会勧奨等の訪問時に、防災ささえあいカードに記入してもらう等、情報収集に努めるとともに、自治会や民生委員が中心となり、情報の更新を計画的に行うこと。

**【具体的な取組】**  
② 高齢者だけでなく、障がいのある人や認知症の人、子育て中の人等、支援が必要な人の情報も収集し、安心して住める地域づくりを進めること。

これまでの地区別計画策定委員会での検討結果を基に、「私たちが山下地区で具体的に取組むこと」を素案にまとめていきます。



**みんなの力で山下地区をもっともっと  
素敵な街にしていましょ！**

<連絡先>  
山下地区・地区別計画策定委員会  
事務局 TEL：930-2282  
(緑区 税務課担当課長 藤井)